
東京経済大学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

2016年度 年次報告書

C o n t e n t s

はじめに

地域連携センター 2016 年度年次報告書の発行にあたって・・・ 3

I. 地域連携センター・・・ 4

1. 事務体制について

2. 事業報告 (2016.4~2017.3)

(1) 行事一覧

(2) 2017 年度事業計画

(3) 地域連携センター利用状況

(4) 情報発信

(5) 地域連携センター運営委員会開催状況

(6) 地域連携センターイベント

II. 地域連携 (東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会)・・・ 20

1. 平成 28 (2016) 年度 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
事業報告

2. 国分寺周辺地域活動費助成事業報告

3. 学生の社会貢献活動に対する助成金事業報告

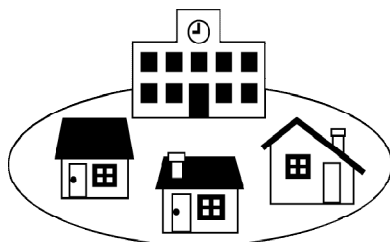
III. 産学連携・・・ 30

1. 多摩信用金庫

2. 西武信用金庫

IV. 学生の社会貢献活動・・・ 40

V. 国分寺市の主な行事・・・ 48



地域連携センター 2016 年度年次報告書の発行にあたって

東京経済大学地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration :CRC）は、本学の社会貢献および産官学の連携の窓口として、またそれらを促進していくための機関として 2015 年度に設置されました。本学 1 号館 2 階に専用オフィスを開設し、2015 年 11 月より専任職員および臨時職員を配置しています。また、当センターの運営にあたる審議機関として地域連携センター運営委員会が設置されています。

じつは当センター開設にいたる前史として、本学は 2004 年 10 月、国分寺市および国分寺市商工会の三者で地域活性化を目的に相互に協力・連携する協定（東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会）を締結し、これまでまちづくりにかかわる共同研究、シンポジウムなどのイベント開催、そして地域と協働した授業運営などに取り組んできた経緯があります。学内でその推進の母体になっていたのがプロジェクト研究所である「国分寺地域産業研究所」です。そうした 10 余年にわたる地元の商工業者・行政との連携事業を通じて多くを学ばせていただいて大学としてその重要性をあらためて認識し、国分寺地域産業研究所が発展的に改組、学内の正式な一部署として「地域連携センター」が発足したということになります。

そうした準備期間を経て、2016 年度はまさに当センター本格稼働の初年度であるといえます。当センターが正式部署となり、常時職員が窓口業務を務める体制が確立されたことで、今年度は多方面に大きく活動の幅が広がりました。それらが社会的に認知される機会が増えたことで、学外からの連携事業の依頼も度々入ってくるようになってきました。そうした学外のニーズと学内のステークホルダー（学生、教員、ゼミ、部・サークル等）をつないでいくインタークの役割を果たす機会が増えてきています。また、センターが主催し、地域の諸団体と協働して行うシンポジウムも複数開催することができました。

とりわけ実学志向の高い本学にとって、産学連携は重要な社会貢献の柱です。本報告書にもページを割いて紹介していますのでご覧いただきたいですが、今年度企業の知的財産（特許）活用アイデアコンテストに 5 つのゼミがエントリーし、何ヶ月も掛けて特許技術を革新的な商品やサービスづくりにつなげていく試行錯誤の結果、これまでにない学生ならではの新鮮なアイデアが展開された一連の取り組みは特筆すべきでしょう。

このように学生の地域参加、産学連携等の取り組みを通じて、学生に“実践的な”学びの機会を提供してくださった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。当センターとしても地域・産業界と大学をしっかりとつないでいくパイプ役として、また、より一層大学として社会への貢献を推し進めるために、いっそう努力して参りたいと存じます。

2017 年 3 月

地域連携センター運営委員長

尾崎 寛直（経済学部准教授）

地域連携センター

1. 事務体制について

地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration）は2015年11月から窓口業務をスタートしました。常駐職員2名体制で、外部機関等及び本学教職員・学生からの情報収集ならびに双方への情報発信、シンポジウム・フォーラム・研究会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域貢献・交流活動への支援を行います。1号館2階にあり、本学教職員・学生が学外関係者とのミーティングなどに使用することもできます。

窓口時間：原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の9:00～17:00

URL：<http://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

管理業務

- ・オフィスの鍵・物品・資料等の管理
- ・予算管理、伝票処理
- ・文書管理
- ・文房具など消耗品の調達
- ・オフィスのゴミの処理

委員会等事務

- ・地域連携センター運営委員会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
- ・国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
- ・その他、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に係る委員会

外部機関との連携窓口

- ・国分寺市役所（市政戦略室など）
- ・国分寺市商工会
- ・多摩信用金庫
- ・西武信用金庫
- ・他大学の地域貢献・地域連携担当部署
- ・その他、地域連携関連の機関及び個人

学内での窓口業務

- ・教員への連絡・案内
- ・地域における活動をするゼミ生への連絡・案内
- ・学務課、キャリアセンターなど他部署との連携・調整
- ・事務局会議等への報告

事務作業

- ・学内外のイベント運営（シンポジウム、フォーラムなど）
- ・掲示物、看板等の作成・管理
- ・ホームページの作成・管理
- ・東京オリンピック・パラリンピック大学連携協定

【センター入口】



地域のイベント情報、ボランティア情報を発信しています。また皆様からの地域の情報もお待ちしております。
お気軽にお越しください

地域連携に関するミーティング、打合せ・各種作業等で使用可能です。
予約優先です。

【室内スペース大】



【室内スペース小】



地域連携に関する書籍、冊子などを揃え、貸出ししています。

地域連携センター使用に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、東京経済大学地域連携センター規程第2条に基づき、地域連携及び産学連携を目的とした地域連携センター（以下「センター」という。）の使用に関し、必要な事項を定める。

(管理)

第2条 センターの管理は、地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

(使用範囲)

第3条 センターの設備等の使用範囲は、次の各号のとおりとする。

- (1) 作業・ミーティング用テーブル
- (2) 打合せブース
- (3) 書庫（資料等保管用）
- (4) 物品収納スペース
- (5) 備付けの文房具

(使用資格)

第4条 センターの使用資格は、次の各号の者とする。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 本学が許可した者

(使用日時)

第5条 センターの使用は、原則として土・日・祝日を除く授業実施期間中の午前9時から午後5時までとする。そのほかの日時での使用に関しては、必要に応じて個別に対応する。

(使用手続)

第6条 センターの設備等を使用する際は、センター窓口で申請の上、許可を得るものとする。

2 第3条第1号及び第2号について、複数のグループから同日・同時時間帯での使用申請があった場合は、申請順に使用を認める。10名以上で使用する場合には、あらかじめ日時・人数・目的等を申し出て予約することができる。

(使用心得)

第7条 センターの使用に当たって、使用者は次の各号を遵守しなければならない。

- (1) 室内での飲食・喫煙禁止

- (2) 室内での騒音及び携帯電話・スマートフォン通話禁止
- (3) 機器・備品・物品等の室外持ち出し禁止
- (4) 第1条に規定する目的以外の使用禁止
- (5) その他公序良俗に反する行為の禁止
- (6) 整理整頓に心がけ、使用した機器・備品・物品等は元の状態・場所に戻すこと
- (7) 室内を清潔に保ち、使用後は清掃を行うこと
- (8) 教職員の指示に従うこと

2 使用者は、前項に規定する義務を怠り、故意又は重大な過失により設備・備品等に損害を生じさせた場合は、その損害を弁償しなければならない。

(使用禁止)

第8条 次の各号に該当する者には、センターの使用を禁止し、使用中でも使用を中止させることがある。

- (1) センターの秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼす行為をした者
- (2) 教職員の指示に従わない者

(賠償義務)

第9条 使用者の責に帰すべき事由により設備等に損害を与えた場合は、本学が損害額を認定し使用者が負担するものとする。ただし、本学がやむを得ないと認めた場合はこの限りでない。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、地域連携センター運営委員会及び大学運営会議の議を経て学長が行う。

付 則

この規程は、2015年(平成27年)11月26日から施行する。

2.事業報告

(1) 行事一覧

委員会等

2016.4.25	第 21 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
2016.5.23	第 15 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
2016.6.13	第 1 回 地域連携センター運営委員会
2016.7.11	第 2 回 地域連携センター運営委員会
2016.7.29	第 24 回 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
2016.11.14	第 3 回 地域連携センター運営委員会
2017.3.15	第 4 回 地域連携センター運営委員会
2017.3.21	第 25 回 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

シンポジウム、イベント等

2016.5.28	国分寺青年会議所 45 周年記念式典（協力）
2016.6.22	知財活用アイデア大会キックオフ説明会
2016.06.23	ボランティア講座 1 回目
2016.6.28	ボランティア講座 2 回目
2016.8.2	第 1 回 知財活用アイデア大会ブラッシュアップ会
2016.8.27	Bunji Global Festa 2016
2016.9.17	第 1 回 CELEO コラボ企画 落語研究会 CELEO 寄席
2016.10.6	第 2 回 知財活用アイデア大会ブラッシュアップ会
2016.10.24	6 大学合同 知財活用アイデア大会ブラッシュアップ会
2016.11.2	知財活用アイデア大会予選会 in 西武信用金庫ビジネスフェア
2016.11.25	地域連携センターシンポジウム「崖線の新時代」
2016.12.10	知財活用アイデア大会 全国大会
2016.12.15	知財活用アイデア大会 慰労会
2016.12.20	中小企業講演会（加藤みどりゼミ）
2017.1.3	第 2 回 CELEO コラボ企画 落語研究会 CELEO 寄席
2017.1.17	こらぼ de サロン「大学生と創る地域の力」
2017.2.26	第 4 回 東京経済大学・多摩信用金庫 共同シンポジウム
2017.3.26	こくベジのじかん（協力）

(2) 2017 年度事業計画

1. 2016 年度の経緯と総括概要

東京経済大学地域連携センター（TKU-CRC 以下センター）は、2016 年度からは専任職員 1 名、臨時職員 1 名の人員体制が整い、業務が進められる状態になっている。これにより常駐的な窓口業務が可能になるとともに、学内外からの要望に基づく連携業務の体制が取れるようになってきている。

こうした業務体制が整った今年度、あらたに国分寺市社会福祉協議会や国分寺駅ビル会社（CELEO 国分寺）、西武信用金庫などからの要望・提案を受けて、センターが学内との調整役を担い、それぞれ具体的な連携企画に結実する成果も生まれている。これらの企画は定期的にセンターからのお知らせというかたちで学内に広報するよう努めており、学内での認知度も上がってきていると考えている。その結果、教職員や学生から外との交渉役・調整役を期待して依頼が入る件数も増えてきている。

また、センターの広報体制にも力を入れている。今年度は本学ホームページ上のセンター専用のページをリニューアルし、トップページからも直接のリンクを張り、これまでの情報を整理しながら外部への発信を行ってきた。これらの雰囲気を実際の世界でも伝えていくために、センター入口脇の掲示板および特設のボードを利用して、ひとつひとつのイベントを写真・コメントによる模造紙大の「ニュース」記事として貼り出すようにした結果、1 号館 2F の学生ラウンジ・パソコンコーナーに立ち寄る学生からも注目されるようになり、地域連携事業の雰囲気醸成に一役買っている。

従来から行ってきた地域活動費助成においては、教職員への助成に加えて、地域連携推進協議会・学生参加委員会の事務局をセンターに移し、「学生地域参加奨励金制度」（年間 20 万円）をセンターにて管轄して、学生団体への助成もセンターが主体的に行うこととなった。今年度は学生団体への補助額を一件あたりおおむね最大 5 万円にして件数を増やした結果、助成対象にあらたな顔ぶれも現れてきた。

センター主催によるシンポジウム開催としては、多摩信用金庫（地域経済研究所）と共同でのシンポジウムのほか、地域の団体との共同によるシンポジウム開催という新たな取り組みも実現してきている。

このように、本学的な業務開始初年度としては上々の滑り出しを果たしているのではないと思われる。以上の拡張してきたそれぞれの活動の成果・情報を適切に収集し、ニュース、年次報告書などにまとめて学内外にさらに広報することが重要である。また、次年度は地域連携業務を補佐する特命講師の採用が予定されており、関連の授業新設とともに一層の事業拡大が期待される。

2. 2017 年度事業計画

以上をふまえて、2017 年度の事業の柱としては、産学連携による交流活動の促進、地域のニーズに応える協働事業の拡大、広報体制の発展、が挙げられる。具体的な事業内容は以下の通りである。

(1) 産学連携による交流活動の促進

2016 年度は、多摩信用金庫からの呼びかけにより前年度から参加している「多摩の学

「生まれづくりコンペティション」に加え、あらたに取り組んだのは、昨年度相互連携協定を締結した西武信用金庫からの提案による知的財産活用（(株)富士通とのコラボレーション）による事業化コンテストである。初年度にもかかわらず、経営学部の4ゼミナール5チームが参加した（コンテストにまで参加したのは3ゼミナール4チーム）。このコンテストは、単に学生が独自のアイデアを披露し競い合うものではなく、具体的な中小企業にもつくりを依頼することを念頭に、事業化の実現可能性を問う側面が強いということである。実際に、これまでのコンテストの「優秀作品」は地元の中小企業と連携し製品化して売り出されたものも数多い。

今後こうした地域金融機関を介して地域企業ニーズと研究シーズを結びつけ、教育の一環として産学連携を行い、本学が地域の課題解決に関与できる機会をより一層増やしていくことが求められる。

くわえて次年度は、特命講師による特別授業（「実社会における課題解決力を鍛える」ほか）も開設されることになっており、地域や地域企業との連携のチャンネルは拡大することが予想される。特命講師の補佐による上述の活動の促進も期待される。

（2）地域のニーズに応える協働事業の拡大

外部との窓口として学外からのニーズを学内に周知し、調整役として企画に結びつけるなどのインテークの業務が今年度定着してきており、国分寺市社会福祉協議会と連携した昼休みの「ボランティア講座」の実施、CELEO 国分寺と連携した「CELEO 寄席」（落語研究会の協力）の実施など、具体的企画につながるものが出てきている。こうしたインテークの役割は今後も拡大していきたい。

教職員および学生の地域活動を促進するための「国分寺周辺地域活動費」および「学生地域参加奨励金制度」は今後も機動的に活用し、一層の地域参加に結びつけていく必要がある。

（3）広報体制の発展

以上のような拡張した事業の個々についての情報もしっかり集約し、学内外への広報を強化していく必要がある。今年度、教職員へはサイボウズ・チラシ、学生へはポータル・マナビおよびセンター掲示板による学内広報を行ってきたが、情報として埋没しないような案内方法を工夫する必要がある。また、定期的な紙媒体でのニュース、センターの年次報告書の発行も行っていくことが求められる。学外に対しては、ホームページの充実とともに、年次報告書やニュースのPDFでの閲覧ができるようにしていく。

（4）その他

センターおよび教職員・学生による産学連携、社会貢献の成果報告を広報する意味でも、年に1~2回はセンター主催のシンポジウムの開催を考える。

また、教員らの地域貢献・産学連携に関する研究成果も、センターの発行する報告書の形式で発表していくことが進められてよい（特命講師の活動なども紹介しても良い）。

最後に、経営的観点からは、文科省の私立大学等改革総合支援事業の特定補助金のタイプ2（地域発展）に掲げられた項目を意識しながら、これらの要素をひとつ一つ充足させていく努力も必要となる。

(3) 地域連携センター利用状況 (2016年4月～2017年3月)

【窓口運営体制】

地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

常勤の専任職員 1 名、臨時職員 1 名合計 2 名による対応。

開設時間：原則として授業実施期間中の月曜日～金曜日の 9：00～17：00

使用資格：本学学生・本学教職員・本学が許可した地域関係者

【センター利用者】

本学学生：ゼミ（演習等）所属学生

「学生と地域貢献」授業履修生

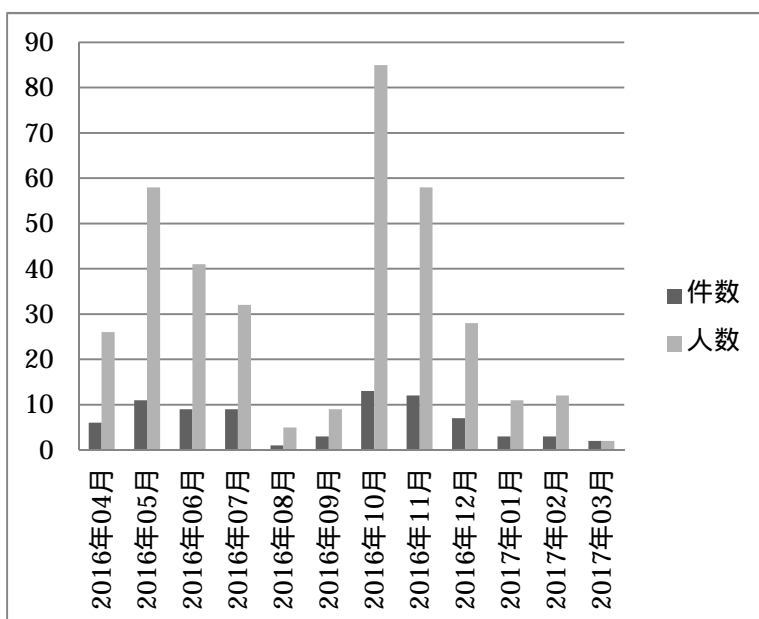
サークル活動（結い、落語研究会、Clover 他）

ボランティア活動生（夏ボラ、他）

本学教職員：尾崎先生、山本先生、光岡先生、渡邊龍也先生、福土先生、加藤みどり先生、北村真琴先生、佐藤修先生、青木亮先生、西下先生、カレイラ先生、小島喜一郎先生

地域関係者：国分寺市、国分寺市青年会議所、国分寺市商工会、武蔵村山市、東村山市、立川市、福生市、多摩信用金庫、西武信用金庫、JR 東日本、CELEO 国分寺、国分寺市社会福祉協議会、ボランティア活動センターこくぶんじ、こくぶんじ市民活動センター、東大和市商工会、武蔵野から編集室、カフェスロー、シニア頭脳バンク、飯田設計、オフィス・シマ（J:COM）等

【利用件数および人数】



(4) 情報発信

TKU ポータル（学生向け）、サイボウズ掲示板（教職員向け）を利用した情報発信

2016.5.6	その他	【募集!!】学生の社会貢献活動に対する助成金制度
2016.5.6	地域情報	5/29 開催 TOKYO まちフェスタフォーラムのご案内
2016.5.11	オリンピック	未来（あした）への道 1000km 横断リレー2016 参加者募集
2016.5.23	オリンピック	5/23～28 開催 車椅子テニス世界国別選手権開催のご案内
2016.5.25	その他	6/12～21 開催 復興庁主催「東北復興月間」イベント開催のご案内
2016.6.6	オリンピック	大会組織委員会ニュースレター「2020 たより」創刊号発行
2016.6.15	オリンピック	6/25 開催ラグビーフェスティバル 2016 & TOKYO のご案内
2016.6.14	その他	【再募集!!】学生の社会貢献活動に対する助成金制度
2016.6.16	地域情報	国分寺駅北口再開発事業タウンネーミングの選定委員募集
2016.6.22	その他	6/23、6/28 開催！ボランティア講座
2016.7.1	オリンピック	7/1～15 開催 #Tokyo2020 学生キャンペーンのご案内
2016.7.6	ボランティア	8/27 開催【Bunji Global Festa】ボランティア募集
2016.7.20	国分寺地域	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座のご案内
2016.7.21	オリンピック	7/24 開催みんなの Tokyo 2020 4 Years to Go!!、東京 2020 ライブサイトのご案内
2016.9.5	地域情報	11/6 開催！国分寺まつり 歴史行列キャストを募集
2016.9.14	地域情報	9/17 開催 落語研究会による寄席をセレオ国分寺にて初開催！
2016.9.21	地域情報	国分寺駅北口再開発地区 タウンネーミング&ロゴデザイン募集
2016.9.29	オリンピック	10/7 開催 文化オリンピック・キックオフセレモニーのお知らせ
2016.10.4	オリンピック	募集期間 10/3～21「東京 2020 アイディアソン」参加者募集
2016.10.7	ボランティア	10/29 開催ハロウィンイベントボランティア募集、10/16 開催サンサン夢まつりボランティア募集、10/12～16 市民グループ展ボランティア募集
2016.10.20	オリンピック	11/23 開催大学における「心のバリアフリー」ワークショップ企画のご案内
2016.10.21	地域情報	10/22 ぶんじハロウィン開催、11/19～20 ぶんぶんウォーク開催、11/7 こくベジワークショップ開催のご案内
2016.10.21	オリンピック	「2020 たより」vol.2 発行のお知らせ
2016.10.25	オリンピック	11/13 開催「大学連携 学生のための Rio to Tokyo」開催のご案内
2016.11.4	その他	11/25 開催 地域連携センターフォーラム「崖線の新時代」シンポジウム開催
2016.11.17	地域情報	こくぶんじ市民活動フェスティバル運営委員募集
2016.11.28	地域情報	11/30～12/4 青木ゼミ展示会開催、12/4 国分寺環境まつりの開催のご案内
2016.12.2.	オリンピック	東京 2020 大会に向けてのボランティア募集 他

2016.12.5	その他	12/20 開催 中小企業講演会のお知らせ
2017.1.10	地域情報	1/17 開催 こらぼ de サロン～大学生と創る地域の力～シンポジウム参加募集
2017.1.30	オリンピック	組織委員会ニュースレター「2020 たより」vol.3 発行のお知らせ
2017.1.31	ボランティア	地域生活支援事業「ロコモコサロン」調理教室のボランティア募集
2017.2.3	地域情報	国分寺市生活支援隊・介護予防応援隊養成研修のご案内
2017.2.17	地域情報	3/5 開催 田原総一郎と国分寺の未来を語る final 開催のお知らせ

ホームページ掲載情報

2016.5.16	学生の地域における活動	【5/19】尾崎ゼミによるスイーツコラボ販売
2016.6.2	地域活性化に向けた活動	6/23.6/28 開催！ボランティア講座
2016.6.9	学生の地域における活動	【6/9】尾崎ゼミによるスイーツコラボ販売
2016.6.16	地域活性化に向けた活動	国分寺駅北口再開発事業タウンネーミングの選定委員を募集
2016.7.14	学生の地域における活動	【7/14】尾崎ゼミによるスイーツコラボ販売
2016.8.8	産業界との連携	知財活用アイデア大会 ブラッシュアップ会を開催
2016.9.1	学生の地域における活動	Bunji Global Festa 2016 ボランティア活動
2016.9.21	学生の地域における活動	「多摩の学生まちづくりコンペティション 2016」経営学部から2ゼミがエントリー。 山本聡ゼミ2年連続本選出場決定！
2016.9.23	学生の地域における活動	落語研究会 CELEO 国分寺で寄席を初開催しました！
2016.10.7	産業界との連携	知財活用アイデア大会 第2回ブラッシュアップ会を開催
2016.10.24	学生の地域における活動	ぶんじハロウィンボランティア活動
2016.11.2	地域活性化に向けた活動	【11月25日開催】東京経済大学地域連携センターフォーラム「崖線の新時代」シンポジウム
2016.11.8	産業界との連携	知財活用アイデアプレゼン全国大会「予選会 in 西武信用金庫」で本学の2チームが優秀賞を受賞！！
2016.11.8	学生の地域における活動	第33回 国分寺まつりボランティア活動
2016.11.21	学生の地域における活動	ぶんぶんウォーク 2016 ボランティア活動
2016.11.28	学生の地域における活動	青木ゼミ展示会～より住みよい街『国分寺』にするには～
2016.11.29	地域活性化に向けた活動	【朝日新聞(多摩版)11/24】東京経済大学の「新次郎池」と、シンポジウム「崖線(はげ)の新時代」が紹介
2016.12.2	産業界との連携	経営学部山本聡ゼミ 知財活用アイデア全国大会へ
2016.12.6	産業界との連携	山本ゼミ3年生 多摩信用金庫で研究報告会を開催
2015.12.12	産業界との連携	山本聡ゼミ「知財活用アイデア全国大会」でファイナリスト賞を受賞
2016.12.16	産業界との連携	知財アイデア大会慰労会開催

2016.12.21	学生の地域における活動	山本聡ゼミ「第3回多摩の学生まちづくりコンペ」で優秀賞、2年連続
2016.12.21	学生の地域における活動	地元・国分寺市の魅力を発信！～小木紀親ゼミが国分寺物語シンポを実施
2016.12.20	地域活性化に向けた活動	中小企業講演会を開催
2017.1.6	学生の地域における活動	落語研究会 CELEO 国分寺で新春寄席開催
2017.1.19	地域活性化に向けた活動	【J:COM TV 1/16～22】小木ゼミが国分寺市長と出演、市の魅力を紹介
2017.1.20	学生の地域における活動	学生と地域で考える～シンポジウム「こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力」開催
2017.2.3	産業界との連携	東京経済大学と多摩信用金庫が「中小企業の稼ぐ力と支援力」をテーマに、共同でシンポジウムを開催

展示パネルでの情報発信

地域連携センター入口掲示板および地域連携センター内において、学生の活動の様子を中心にパネルにまとめて展示しました。



地域連携センターチラシ作成

地域連携センターの存在と活動内容を広く知ってもらうためにチラシを作成しました。国分寺商工会、地域の商店会などに配架していただきました。



(5) 地域連携センター運営委員会 平成 28 (2016) 年度開催状況

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 1 回	平成 28 年 6 月 13 日(月) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <p>「国分寺周辺地域活動費」助成申請の選考について 「学生の社会貢献活動に対する助成金」の選考について その他</p> <p>【報告事項】</p> <p>東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会（5/23 開催） について 2016 年度事業計画について（追加報告） 地域連携センター主催シンポジウムについて その他</p>
第 2 回	平成 28 年 7 月 11 日(月) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <p>「国分寺周辺地域活動費」助成 の選考について（再募集 分） 「学生の社会貢献活動に対する助成金」の選考について その他</p> <p>【報告事項】</p> <p>地域連携センター主催シンポジウムについて 各委員報告 その他</p>
第 3 回	平成 28 年 11 月 14 日(月) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <p>2017 年度の活動について 2017 年度予算要求（案）について その他</p> <p>【報告事項】</p> <p>地域連携センター主催シンポジウム について 2016 年度 地域インターンシップ成果報告会について 地域連携センター窓口開設 1 年の報告 本学 HP への画面追加について 各委員からの報告 その他</p>
第 4 回	平成 29 年 3 月 15 日(水) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <p>なし</p> <p>【報告事項】</p> <p>2016 年度 国分寺周辺地域活動について 2016 年度 学生の社会貢献活動について 地域連携センターシンポジウム実施報告 2017 年度予算について 各委員報告 その他</p>

(6) 地域連携センターイベント

1) ボランティア講座&相談会

日時：6月23日(木)、28日(火) 12:15～12:55

場所：1号館2階学生ラウンジ(地域連携センター前)

講師：ボランティア活動センターこくぶんじ 有馬千佳氏、川端真紀氏

参加者数：本学学生延べ32名

ボランティア活動センターこくぶんじが主催する2016年夏体験ボランティアについて、説明および相談会を開催しました。

昼休みの時間を利用し、まずボランティアとは何だろうという、導入の講和から始めました。続いてボランティア活動を始めるに当たっての手順や心構えなどをお話いただき、グループに分かれて、ボランティアの現場に居ることを想像しながら考えていくクイズに答え、楽しみながらボランティアについての理解を深めました。

同じ内容の講座を2日に分けて開催し、延べ32名の学生が参加しました。



2) シンポジウム

「崖線の新時代 国分寺崖線の記憶の継承とこれからの地域連携」

日 程:2016年11月25日(金)15:30~17:45(開場 15:00)

場 所:東京経済大学 進一層館

参加者数:約 330 名

プログラム:

★はけて何?(講演)

安田 桂子氏(「はけの自然と文化をまもる会」共同代表)

★はけの歴史 東西お寺の今昔対談

張堂 完俊氏(深大寺第八十八世住職)

星野 信夫氏(国分寺市観光協会会長、東京経済大学理事、前国分寺市長)

★ディスカッション

コーディネーター:尾崎寛直(東京経済大学准教授、同地域連携センター運営
委員長)

パネリスト :林徹氏(国際基督教大学講師)、
藤田樹生氏(東京都環境局自然環境部緑環境課)
藤木千草氏(国分寺地下水の会会員)、
瀧本広子氏(小金井市環境市民会議代表)
徳永直秀氏(小金井市下水道課業務設備係)、
東伸明氏(野村不動産株式会社)
土肥英生氏(NPO 法人グリーンネックレス代表理事)

総合司会進行 :高浜 洋平氏(「めぐるみ Labo & Café」主宰)

今回のシンポジウムは、東京郊外から世田谷へと連なる「国分寺崖線(がいせん)」をテーマに、崖線の成り立ちや歴史を振り返り、資源活用や地域連携の未来を考えることを目的に開催。国分寺市観光協会会長を務める星野信夫氏(前国分寺市長)と、深大寺第八十八世住職の張堂完俊氏による「はけの歴史 東西お寺の今昔対談」では、国分寺と深大寺における環境保全に対する取り組みについて語られました。

張堂氏は「崖線や野川を知らない人は圧倒的に多い。灯籠流しなど、自然に触れられるイベントを積極的に設けていきたい」とコメント。一方の星野氏は「崖線を守っていくためには、行政と市民の協力はもちろん、近隣の市との連携も必要不可欠」と、広範囲な連携の必要性を強調しました。その上で、張堂氏は「崖線は一度壊すと戻らない宝物のような存在。特に東京のような都市では大切にしていかなければならない」と崖線の価値を訴え、対談を総括しました。

その後、環境にまつわる8名の討論者が登壇し、パネルディスカッションが繰り広げられました。崖線の魅力を伝えるプロジェクト「はけの学校」を展開するNPO法人グリーンネックレス代表理事の土肥英生氏は「現代における崖線の価値を共有しなけ

ればならないが、伝えきれているかという課題はある」と発言。これに対して、国分寺地下水の会に所属する藤木千草氏は「現場で気づいたことを行政に提言していくことが重要である」と、見解を示しました。最後に、コーディネーターを務めた東京経済大学地域連携センターの尾崎寛直運営委員長（経済学部准教授）が「行政と市民が崖線の価値を共有できるような仕組みを考え、未来へ投資していかなければならない」と総括し、シンポジウムを締めくくりました。



コラボレーションシンポジウム「こらぼ de サロン ～大学生と創る地域の力～」

日 程：2017年1月17日(火)15:00～17:30

場 所：国分寺Lホール

講 師：東京経済大学地域連携センター運営委員長、経済学部准教授 尾崎寛直

シンポジウムは2部構成で、第1部では、東京経済大学地域連携センター運営委員長を務める尾崎寛直経済学部准教授の講演が「21世紀の大学の担う 第三の使命」と題し行われました。尾崎准教授は、時代とともに変わりつつある大学教育や大学と地域社会の連携の重要性について語り、実例として、東京経済大学の「地域インターンシップ」や「学生の地域貢献」などの授業や、ゼミ、それにサークルと地域との関わりを紹介しました。講演に続いて、尾崎准教授が担当する特別ゼミ「エコキャンパスを創る」に所属する学生が活動報告をプレゼン。昨年11月に行われた国分寺地域の祭典「ふんぶんウォーク」で出店した模擬店の模様や、キャンパス内にあり、国分寺崖線の一部である新次郎池周辺の森の保全活動の様子が紹介され、学生と地域の人々が一体となって国分寺の文化・自然を守っていくことの重要性を訴えました。

第2部では、聴講者とゼミ生がテーブルを囲んでグループトークを実施。5つのグループにわかれて、学生が継続的に地域に関わり続けることができる仕組みや、地域のイベントで学生の力を生かす方法を議論し、グループごとに内容をまとめ、発表しました。これらの発表を受けて、尾崎准教授は「学生は積極的に地域と関わろうとアクションを起こしてほしい。地域住民も困ったことがあったらしっかり声を上げることが大切」と締めくくり、聴講者は学生と地域社会の歩み寄った交流の重要性を改めて認識しました。

今回のシンポジウムは、1月18日(水)17時放映のJ:COMデイリーニュースで紹介されました。



東京経済大学地域連携センターコラボレーションシンポジウム

東大生の
プレゼンも
参加!!

東大生の
プレゼンも
あります

学生と地域の
つながりを
考える

どなたでも
参加できます!
事前予約制

こらぼ de サロン
大学生と創る地域の力

平成29年1月17日(火) 午後3時～5時半
国分寺Lホール(国分寺駅ビル5F)

講師プロフィール

尾崎 寛直 (おさき ひろなお)
東京経済大学地域連携センター運営委員長、経済学部准教授。2004年より、東京経済大学地域連携センター運営委員を務める。東京経済大学経済学部准教授を経て、2008年より現職。「コミュニティ福祉」は、社会福祉学と経済学を軸とした学際的な研究を、社会福祉学と経済学の連携を推進する研究を推進している。

東京経済大学
〒102-8501 東京都千代田区千代田 1-4-1
TEL:03-5462-3000 FAX:03-5462-3007
E:office@teikei.ac.jp



・ 地域連携

1. 平成 28 (2016) 年度 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会 事業報告

1) 協議会運営委員会

平成 28(2016)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 21 回	平成 28 年 4 月 25 日 東京経済大学	委員交代と委員会の構成について 専門委員会の事業報告について 規約の改正について 専門委員会の平成 27 年度事業計画について 協議会(第 15 回)の開催について その他

2) 国分寺地域産業研究委員会

平成 28(2016)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
	開催なし	

3) 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

平成 28(2016)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 24 回	平成 28 年 7 月 29 日 東京経済大学	委員の変更 2016 年度(平成 28 年度)前期事業報告及び後期事業計画 2016 年度「学生の社会貢献活動に対する助成金」受給団体について
第 25 回	平成 29 年 3 月 21 日 東京経済大学	委員の変更 2016 年度(平成 28 年度)事業報告 2017 年度(平成 29 年度)事業計画 その他

4) 国分寺地域総合学習委員会

平成 28(2016)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 21 回	平成 28 年 7 月 13 日 東京経済大学	平成 27 年度事業報告 平成 28 年度事業計画(案)について 協議・検討 第 35 回市民大学講座の充実にむけて 東京経済大学・国分寺市共催事業の在り方について
第 22 回	平成 29 年 2 月 2 日 東京経済大学	平成 28 年度市民大学講座について(報告) 平成 29 年度事業計画(案)について その他(前回議事録の確認ほか)

2. 国分寺周辺地域活動費活動報告

1) 農福連携とスポーツを通じた障害者の社会参加支援

経済学部准教授 尾崎寛直

開催期間：2016年4月18日(月)から2017年2月1日(月)まで

今年度のコラボ事業は、あらたに2年生が加わってくれたこともあり、デモ販売や新商品開発等を統括する「どーむ班」(6人)、NPO法人Ohanaとのコラボ企画を担う「オハナ班」(8人)、そして昨年度立ち上げた「スポーツ活動班」(5人)の3グループで活動を行った。

「どーむ班」では、今年度は毎月のデモ活動は定例で行い、さまざまなお祭りでの模擬店参加を行ったほか、国分寺市内での学外販売にも挑戦した。いわゆる「理解のある人々」ではない一般市民にスイーツを売ることの難しさを肌で感じることもあり、大きな収穫を得た。

さらに班のメンバーらは、そうした市内での販売の取り組みを他市の法人から学ぶため、わざわざ八王子市に出向き、調査をしてきた成果を法人との合同会議で報告してくれた。そこから得られた教訓を私たちのコラボ事業に活かそうという努力が見られたことは特質すべきである。

「オハナ班」は、夏のオープンキャンパス「女子カフェ」に提供するクッキー800個をオハナ利用者らと一緒に製造にも加わり、成し遂げた。手製のメッセージカードを作成して、自主製品にこめる当事者らの思いをアピールしてくれた。さらに今年度は、スイーツ以外の清掃業務、園芸業務にも同行し、日常の就労の中から当事者の働く姿勢や喜びを感じ取ろうという取り組みにも展開したことは大きな意味がある。

昨年度立ち上げて手探り状態だった「スポーツ活動班」は、今年は明確に活動のターゲットを定め、太陽の利用者らとの深い交流の中で「どのようにしたら利用者の方々が運動を楽しめるか」という現実的な視点で「スポーツ」イベントを実現してくれた。そして今年は施設外に繰り出して「高尾山ハイキング」を実現し、そこに行くまでの行程における「一般社会」の中での障害のある人々の置かれた環境や社会の目線を肌で感じつつ、いかにして利用者が楽しめるかに腐心してくれた。

このように、障害のある当事者が地域の中で「目に見える」形でスポーツなどの活動をしたり、彼自身が製造した製品販売の実践を通じて、地域社会における「ノーマライゼーション」の定着に大きく貢献できたと考えている。



2) 音楽ボランティアによる特別養護老人ホーム利用者とゼミ生の社会的交流

プログラム

現代法学部教授 西下彰俊

2016年8月1日(月)から2017年1月13日(金)まで

西下ゼミとして、「音楽ボランティアによる特別養護老人ホーム利用者とゼミ生との定期プログラム」を実施した。

2016年8月1日(月)、9月20日(火)、10月31日(月)の3回については、国分寺市恋ヶ窪にある特別養護老人ホーム『西恋ヶ窪にんじんホーム』で、入居者の皆さんと一緒に合唱する音楽ボランティアを行った。音楽サークルに所属しているゼミ生がキーボードで伴奏し、その他のゼミ生はカスタネットやトライアングルを使いながら、前に出て毎回12曲程度を歌った。実際には2つのグループにわけ、半数ずつ前で歌い、半数は入居者の皆さん方のそばに寄り添い歌うというボランティア活動を行った。最後は入居者の皆さんから歌いたい楽曲のリクエストを頂き、次回のボランティアでその楽曲を演奏するようにした。入居者の皆さんには大変喜んでいただけたので、今後も継続して行っていきたい。また、ゼミ生以外の他学部学生や大学院留年生も数人このボランティアプログラムに参加した。

なお、4回目については、他のボランティア団体と活動日が重なったため、2015年度にボランティアを行った国分寺市内の高齢者複合施設『ミンナ』で音楽ボランティアを行った。

国分寺市内の2つの高齢者施設に複数回、音楽ボランティア活動を行うことで社会的な交流が実践できたことは、今後の地域連携の礎となるものであり、東京経済大学の学生にとっても介護施設の高齢者の皆様にとっても有意義なプログラムになったと言える。

2016年秋の大学祭においては、ゼミ展を行い、ゼミ活動の1つとして音楽ボランティアを行っていること、その意義についてパワーポイントにまとめ、掲示した。葵祭の3日間にゼミ展示教室に来訪していただいた150名を超える一般の方々に、西下ゼミが2015年度から継続して行っている音楽ボランティアを通じた地域貢献について理解していただくことができた。



3) 地域金融機関、地域企業、大企業、自治体との連携によるシンポジウムの開催

経営学部准教授 山本聡

2017年2月24日(金)開催

中小企業の稼ぐ力と支援力～企業と支援機関のパートナーシップによる価値創造～
目的：昨今、市場環境や産業構造が大きく変化し、苦境にあえぐ企業も多い中、海外への販路開拓や新分野への進出、ビジネスモデルの転換等を図ることで、厳しい環境下でも成長を続けている企業が存在する。そういった企業が優れた経営手腕や革新的な技術を有しているのはもちろんだが、支援機関と緊密な連携を図ることで、より素早く、効果的に事業を前進させている点が挙げられる。本シンポジウムでは、そのような成長企業の新たな動きとともに支援機関との協力関係に着目し、支援機関の重要性と効果的な支援手法についてお伝えする。

第一部 事例報告1「下請けから自立へ 新規事業への挑戦」

永進テクノ株式会社 代表取締役 鈴木道雄

相模原市環境経済局経済部産業政策課 担当課長 渡辺誠治

事例報告2「ドイツへの国際展開支援とさいたま中小企業の“稼ぐ力”

株式会社 華光 代表取締役社長 木田和寿

公益財団法人さいたま市産業創造財団 支援・金融課 北村咲子

第二部 会場とのディスカッション

「今、企業は何を考え、どのような支援を望んでいるか」

コーディネーター 経営学部准教授 山本聡

当日は60人の参加者があり、その多くが近隣自治体や公的機関、東京都や経済産業省の企業支援担当者だった。そうした参加者に他地域の先進事例を伝え、ディスカッションすることで、情報共有と地域活性化へのアイデア創出に関して、貢献することができた。合わせて、東経大の地域工権威対する姿勢を、近隣自治体、東京都、経済産業省に対し、強く印象付けることができた。

東京経済大学
たましん
東京経済大学・多摩信用金庫 共同シンポジウム
中小企業の稼ぐ力と支援力
～企業と支援機関のパートナーシップによる価値共創～
昨今、市場環境や産業構造が大きく変化し、苦境にあえぐ企業も多い中、海外への販路開拓や新分野への進出、ビジネスモデルの転換等を図ることで、厳しい環境下でも成長を続けている企業が存在する。そういった企業が優れた経営手腕や革新的な技術を有しているのはもちろんだが、支援機関と緊密な連携を図ることで、より素早く、効果的に事業を前進させている点が挙げられる。本シンポジウムでは、そのような成長企業の新たな動きとともに支援機関との協力関係に着目し、支援機関の重要性と効果的な支援手法についてお伝えする。

開催日時 平成27年2月24日(金) 午後5時00分～午後8時00分
会場 東京経済大学 経営学キャンパス
5号館2階 202L 第2号
東京駅前分庁舎前17-04
参加費 伊豆半額制
申込方法 以下のメールアドレス宛に申込書をご記入の上、お申し込みください。
伊豆半額制 郵送 「申し込み用紙」に記入してください
メールアドレス: joshin@eui.ac.jp(申し込み用紙) 申し込み受付 2月21日(水)まで
お問い合わせ 多摩信用金庫 地域連携推進課 担当: 山本
TEL: 042-626-7764 (平日午前9時～午後5時)

第一部 事例報告
事例報告1 「下請けから自立へ 新規事業への挑戦」
永進テクノ株式会社 代表取締役 鈴木道雄
相模原市環境経済局経済部産業政策課 担当課長 渡辺誠治
事例報告2 「ドイツへの国際展開支援とさいたま中小企業の“稼ぐ力”」
株式会社 華光 代表取締役社長 木田和寿
公益財団法人さいたま市産業創造財団 支援・金融課 北村咲子

第二部 会場とのディスカッション
「今、企業は何を考え、どのような支援を望んでいるか」
コーディネーター 経営学部准教授 山本聡

主催 東京経済大学 多摩信用金庫
協賛 相模原市環境経済局経済部産業政策課 さいたま市産業創造財団
後援 伊豆半額制

特別講演者
「ドイツへの国際展開支援」
東京経済大学 経営学専攻 准教授 山本聡
東京経済大学 経営学専攻 准教授 山本聡
東京経済大学 経営学専攻 准教授 山本聡

特別講演者
「ドイツへの国際展開支援」
東京経済大学 経営学専攻 准教授 山本聡
東京経済大学 経営学専攻 准教授 山本聡
東京経済大学 経営学専攻 准教授 山本聡



4) 青木ゼミ ゼミ展示会

経営学部教授 青木亮

2017年11月30日(水)～2016年12月4日(日)まで

本年度は、国分寺市本多公民館にて、5月20日から22日の3日間行われた新緑祭りへの参加と、11月30日(水)から12月4日(日)の1週間を利用して実施したゼミ展示会を行った。

新緑祭りへの参加は、本年度が初の試みである。本多公民館の方からお誘いを受けて、新たに実施することになった。昨年度のゼミ展示会(コミュニティバスは地域を救う!)の内容を再構成したパネル展示を行った。パネル展示と共に、前年度の2月頃から他の参加団体と協力してポスターの作成に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営に協力した。参加団体の構成員に高齢者が多いこともあり、パネルや椅子、机の移動を伴う会場設営作業では、体力のある学生の参加は多くの方から喜ばれた。

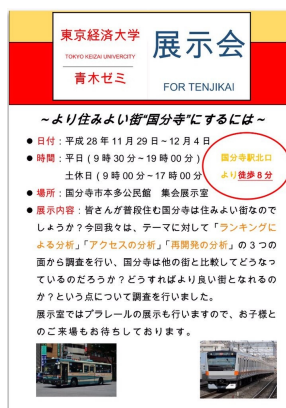
11月末から12月初めにかけてのゼミ展示会は、2006年から継続しており、本年度で10年目を迎える。今回は「住みたいと思える町、国分寺」をテーマに、住みたいまちランキングや交通アクセス比較、国分寺と周辺地域の再開発について調査して、国分寺の魅力进行分析した。5日間にわたるゼミ展示会では、合計193の方に展示をご覧いただいた。アンケート結果より展示会にこられた方の意見をみると、

- ・全体的にみやすくわかりやすかった。
- ・丁寧に分析されていると感じた。
- ・住みよさの位置づけが明示されており、興味深かった。
- ・公民館でこのような展示会を開くことは、子供のいる家などが来やすいと感じた。
- ・研究成果を行政に意見として出してみてもは。

などの比較的好意的な意見を多くいただき、ゼミ活動の成果を地域に還元するという意味で、今年度も公民館でのゼミ展示会の開催は一定の成果を得られたと考える。一方で

- ・ポイントをまとめてほしい
- ・文字が多く感じた。絵を使うなど工夫をしてみてもは。
- ・国分寺全体の問題や、そこからの考察、問題提起があればよかった。

など、展示内容や方法への改善意見もいただいた。これらについてはゼミの時間を利用してアンケート結果の報告を行い、学生へフィードバックした。来年度以降、展示内容の改善に役立てていきたいと思う。



3. 学生の社会貢献活動に対する助成金 実施報告

1) 地域コンペティション挑戦チーム

◆ 開催日時

2016年12月11日(西武信金コンペティション)

2016年12月18日(まちづくりコンペティション)

◆ 概要

富士通(株)主催知財活用アイデア大会に関して、開放特許である光コードを活用した奇怪装置の提案を行った。この奇怪装置は、部屋があればどこでも簡易的にお化け屋敷にすることが出来るため、これを東京都内の家族向けホテルに導入することで、空き部屋を利活用する事が出来、利益につながる。また、外国人観光客への対応も可能なため、2020の際、外国人宿泊客獲得のきっかけにもなり、東京都の観光による活性化の一助となると考えた。コンペティションではファイナリスト賞を受賞した。まちづくりコンペティションでは、瑞(みず)をキーワードに多摩地域の交流人口を増加する事により、地域活性化を目指した。活動地を東村山として、『端で繋ぐTAMAらない旅』と題してまち歩きを3度行った。まち歩きの締め括りには、東村山市の他にも、奥多摩や千代田区に足を運び、多摩地域内外の方々と関係を築き、多摩の地域活性化を考えた。コンペティションでは優秀賞を受賞した。

◆ 意義

富士通(株)主催知財活用アイデア大会参加班に関して、知財活用により、その活用システムを東京都のホテルに導入することで、観光客増加による地域活性化の一助となること。まちづくりコンペティション参加班に関して、地域の特色を活かしたまち歩きをすることで、交流人口増加による、多摩地域活性化の一助となること。

◆ 広報の方法

まちづくりコンペティション参加班主催の東村山市まち歩きに関して、多摩信用金庫・富士ゼロックス(株)・東村山市役所・国際交流協会・むらまち結びの方々には自作チラシを配布し、広報のご協力をいただいた。また、アカウントを作成し、Facebookを用いた情報発信も行った。

◆ スケジュール

まちづくりコンペ

	内容	参加者数
4月23日	春まち歩き	5名
8月27日	夏まち歩き	10名
9月17日	選考会	
11月28日	秋まち歩き	
12月9日	出張 MIZU×TAMA	10名
12月28日	まち歩き	6名

知財活用アイデア大会

日程	内容	場所等
8月1日	ブラッシュアップ会	東京経済大学
8月16日	ヒアリング・実態調査	江戸東京博物館
9月23日	ヒアリング調査	ワーキングスペース
11月3日	知財活用アイデア大会予選会	西武信金ビジネスフェア内

◆ 当日の内容

まち歩き（まちづくりコンペ班）の活動に関して、東村山市内の水にまつわる場所（湧水公園・直売所など）をめぐり、最後には酒蔵にて地酒と地場野菜、多摩地域の水にまつわる食材（わさび・醤油など）を堪能した。参加者には、東村山市でのまち歩きを通して、地域の人や文化などに触れてもらった事により、多くの方から「再び訪れたい」というご意見をいただいた。

◆ 所感

地域のコンペティションに参加することで、地域の資源や観光に来る方のニーズを探るために、実際に様々な地域や組織に訪問した。そのなかで多摩地域、都心の方々と広く関係を築くことができた。地域に対して関心が高まった学生もおおく、関わった方々からのお褒めの言葉や賞を頂いたことにより、大きな達成感を得ることができた。また、ヒアリング結果を解釈し、学生に出来る地域貢献を考えぬき次の取り組みへとつなげていく活動により、思考力・理解力・発信力などが鍛えられた。両コンペティションにおいて、様々な方と関わらせていただき、賞を頂くことができ、かけがえのない経験になったとともに、学びの多い一年弱となりました。

【まちづくりコンペティションとまち歩き】



【知財活用アイデア大会】



2) 学生フェアトレード推進学生団体 結い~You&I~

- ◆ 開催日時
2016年11月6日(日)
- ◆ 概要
第33回国分寺まつりにフェアトレード推進活動団体としてブースを出展した。ブース内では、主にフェアトレード商品であるクッキーの販売、国分寺まつりに用意したチラシとパンフレットの配布を行った。また、ブースにフェアトレードに関する書籍や雑貨を展示した。
- ◆ 意義
国分寺まつりの来場者にフェアトレードについて知ってもらうこと。お客様に合わせたわかりやすい説明を意識することで、フェアトレードに関心を持ってもらえるようにすること。また、国分寺周辺にあるフェアトレードショップの紹介や、実際にフェアトレード商品をブース内で販売することによって、フェアトレードを身近に感じてもらうこと。
- ◆ 広報の方法
結いのフェイスブックやツイッターを活用。
https://twitter.com/fairtrade_youi
<https://ja-jp.facebook.com/tku.youi/>



3) 東京経済大学落語研究会

◆ 開催日時

2016年12月3日 19時開演

◆ 概要

「第7回葵名人会」と題して、国分寺市立いずみホールにて落語会を開催。プロの落語家である八代目春風亭柳橋師匠をゲストに招き、落語研究会所属の学生による落語を8席披露した。

◆ 意義

落語研究会は国分寺市内の老人ホームや公民館などから依頼を受け、落語を披露しており、周辺地域の方々のおかげで貴重な発表の場をいただいている。また、こうした発表の際に、学生の発表にも関わらずたくさんの地域の方々が足を運んでくださる。このように、日頃お世話になっている地域の皆様に恩返しすべく、この落語会を企画した。普段はなかなか見ることができないプロの落語家をお呼びし、本物の伝統和芸に親しんでもらう機会になればよいと考える。

◆ 広報の方法

- ・ 国分寺市内のお店に伺い、約2000枚のチラシを配布
- ・ 国分寺市内の町内会の回覧板でチラシを配布
- ・ OBなどに葵名人会ご案内のメールで宣伝
- ・ 落語研究会公式アカウント (@TKU_ochiken) にて宣伝
- ・ 落語研究会公式HP(<http://tkuochiken.jimdo.com/>)にて宣伝
- ・ 国分寺駅南側、西国分寺駅南北での朝日新聞折り込み広告
- ・ 学内でチラシを配布

◆ 当日のスケジュール

17:50	国分寺市立いずみホールに集合
18:00	開場準備、最終打ち合わせ
18:30	開場
19:00	開演
21:40	終演
21:50	会場撤去
22:00	解散

当日来客数約 125 名

◆ 演目

雑草むしゃむしゃ	『つる』	
零細亭企業	『厩火事』	
秋月亭長月	『代書屋』	
春風亭柳橋師匠	『お見立て』	～ 仲入り～
焼肉亭衝撃	『反対俣』	
電々舎関鉄	『山号寺号』	
西尾家ツ橋	『蝦蟇の油』	
す亭ごおると	『禁酒番屋』	

◆ 所感

当日は天気にも恵まれ、例年以上の 125 名のお客様にご来場いただいた。当日行ったアンケートに「とても満足」と書いてくれたお客様が約 7 割に上り、第 7 回葵名人会は一通り成功に終わったと考える。しかしながら、会の宣伝方法をもう少し工夫すれば、もっと多くの集客が見込めたのではないかと考える。来年度もいずみホールで落語会を行える機会があれば、今年度よりも集客数を増やせるように日々の活動に精進したい。



.産学連携

1.多摩信用金庫

第4回 東京経済大学・多摩信用金庫 共同シンポジウム

標 題：中小企業の稼ぐ力と支援力

～企業と支援機関のパートナーシップによる価値共創～

日 時：平成29年2月24日（金）14：00～17：00

会 場：東京経済大学 国分寺キャンパス 5号館 E201 教室

プログラム：開会の挨拶 多摩信用金庫 地域連携支援部長 長島 剛

第一部 事例報告

1. 「下請けから自立へ 新規事業への挑戦」

永進テクノ株式会社 代表取締役 鈴木道雄

相模原市環境経済局経済部産業政策課 担当課長 渡辺誠治

2. 「ドイツへの国際展開支援とさいたま中小企業の“稼ぐ力”」

株式会社華光 代表取締役社長 木田和寿

公益財団法人さいたま市産業創造財団 支援・金融課 北村咲子

二部 会場とのディスカッション

「今、企業は何を考え、どのような支援を望んでいるか」

コーディネーター 東京経済大学 経営学部准教授 山本聡

東京経済大学で地域連携、社会貢献を研究・推進する地域連携センターと、多摩地区のものづくり企業を多方面からサポートする多摩信用金庫は、2017年2月24日（金）、東京経済大学5号館2階E201教室で共同シンポジウムを開催し、60名が来場しました。東京経済大学は、2014年10月に多摩信用金庫と連携協力協定を結び、共同シンポジウムの開催は今回で4度目を数えます。

シンポジウムは「中小企業の稼ぐ力と支援力 ～企業と支援機関のパートナーシップによる価値共創～」と題し、中小企業と支援機関の協力関係に着目し、二部構成で実施しました。

第一部では、中小企業と支援機関の協力関係に関する事例報告が行われ、製造業において注目を集める、永進テクノ株式会社と株式会社華光（かこう）の両経営者および、それぞれの事業をサポートする支援機関の代表者が登壇しました。

神奈川県相模原市でロボットシステム事業を行う永進テクノと協力関係にある相模原市環境経済局の支援担当者は「企業と目的を共有しているからこそ、互いの距離が近くなる」と、中小企業と支援機関の協力には目的の共有が重要であると強調しました。

第二部では、第一部で報告を行った担当者と来場者である自治体職員等や東京経済大学の学生を交えてディスカッションが行われました。

東京都北区を拠点とし金属製品の製造・加工を行う華光の経営者は「支援機関のサポートを活用することで、積極的な海外展開が可能になった。海外に進出することで、企業のブランド力向上を図ることができた」と、支援機関との協力がもたらす効果やメリットについて語りました。

「今後の人材育成についてどのように考えているか」という会場からの質問に対し、永進テクノの経営者は「毎年新卒を採用した上で、一人ひとりの個性が生きる環境を構築し、成長し続ける企業になりたい」と、今後の展望を述べました。

最後に、コーディネーターを務める東京経済大学経営学部の山本聡准教授が「東京経済大学は、多摩地区における中小企業の成長に貢献したいと考えている。このような機会は今後も積極的に設けていきたい」と語り、約3時間に渡るシンポジウムを締めくくりました。



2. 西武信用金庫

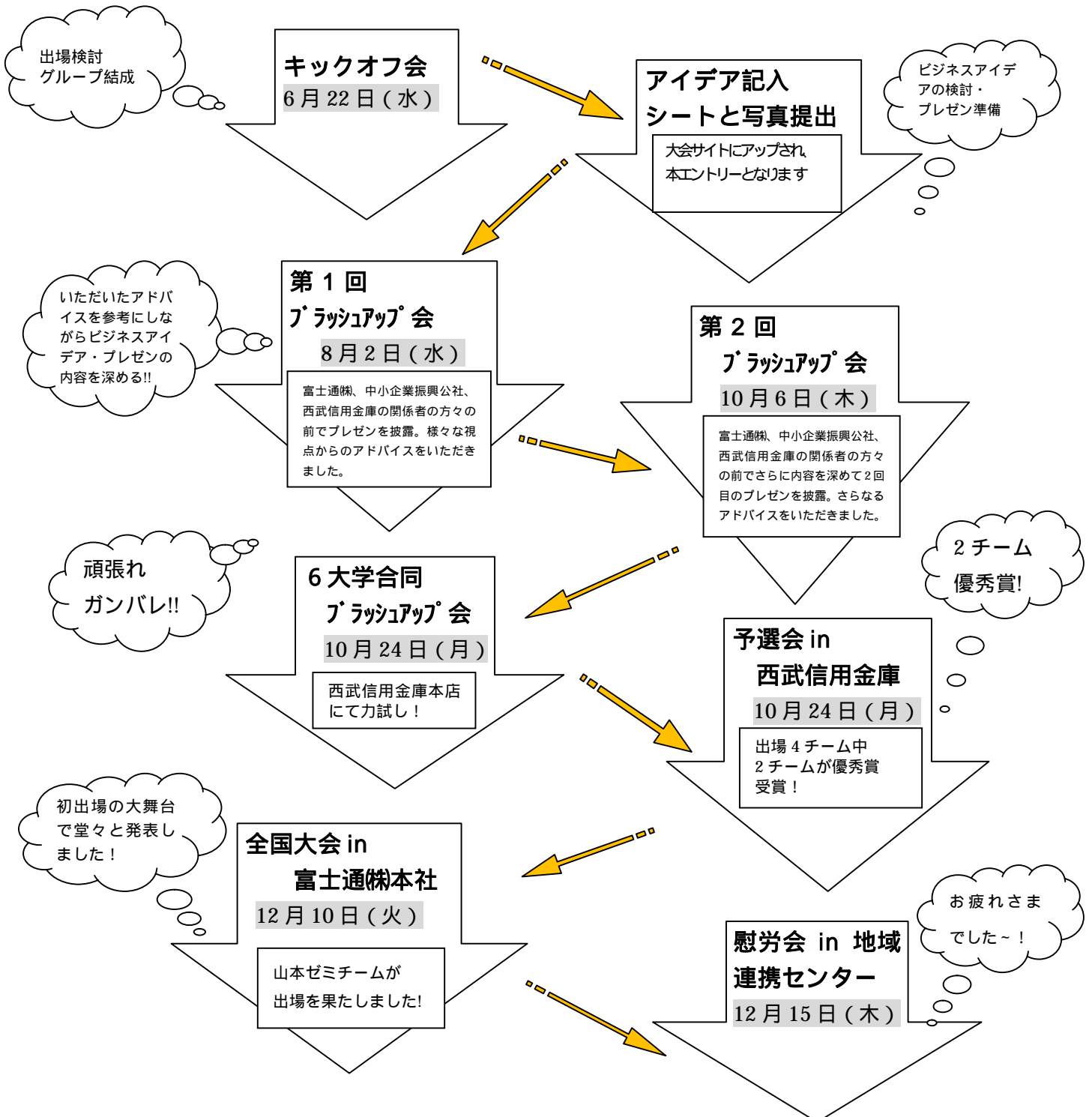
知財活用アイデア全国大会 2016

知財活用アイデア大会とは？

<http://opi.innovations-i.com/idea/student/>

大学生が富士通株式会社の開放特許を活用した商品アイデアを考え、西武信用金庫など金融機関のサポートを受けながらブラッシュアップを図って競い合うもので、全国大会まで繋がっています。これまでの市場にない斬新な商品アイデアを創出し、知財財産を活用した商品開発の成功事例の実現を目指します。

【全体の流れ】




特許技術一覧


- 照明光へのコード埋め込み技術
 - 照明の光の中にコードを埋め込みそれを読み取る技術
- 視線検出技術
 - 眼の動きを検出し、使用者がどこを見ているのか検出
- 行動状態検知技術
 - 対象者をカメラで撮影し、動きの大きさを可視化する技術
- 方向誘導技術
 - 画面等を見なくても進むべき方向を力学的に伝達してくれる技術
- 温度差発電技術
 - 熱を電気に変える発電デバイス
- 広告関連技術
 - 対象者に合わせた広告を表示する技術

参加チーム


【加藤みどりゼミ】

活用特許名	照明光へのコード埋め込み技術
チーム名	加藤ゼミ 
グループ人数	6名
アイデア名	サバゲーにスポットライトを
活用特許名	照明光へのコード埋め込み技術


【北村真琴ゼミ】

活用特許名	照明光へのコード埋め込み技術
チーム名	七転び八起き 
グループ人数	4名
アイデア名	シネマ de コンパ～映画で感じるシンパシー～
アイデア概要	照明光へのコード埋め込み技術を映画の電球で使用し、上映後、映画の好きなシーンごとの男女グループになり、一緒に食事をし、価値観の合った素敵なお相手との出会いをお手伝いします！


【北村真琴ゼミ】

活用特許名	広告関連技術
チーム名	がっしゅくがかり 
グループ人数	4名
アイデア名	おもてなさいねーじ
アイデア概要	RF タグにあらかじめ利用者が情報を登録しておくことで、イベントなどでの運営を容易にできる。

【佐藤修ゼミ】

活用特許名	照明光へのコード埋め込み技術
チーム名	佐藤ゼミ 
グループ人数	6名
アイデア名	スタンプラリー
アイデア概要	照明光へのコード埋め込み技術を使い、百貨店等の商業施設でスタンプラリーを開催します。店舗を回ってスマホでコードを収集し、10個集めたら記念品や割引券を受け取れるようにします。

【山本聡ゼミ】

活用特許名	照明光へのコード埋め込み技術
チーム名	山の子 
グループ人数	5名
アイデア名	奇怪装置
アイデア概要	懐中電灯にコードを埋め込み、読み取る装置を旅館などに設置。光が当たると怖い音や妖怪の映像が流れる。また、部屋の照明によって地域に関わる怖い話なども読める。日本人はもちろん、外国人にも楽しんでいただく。

● スケジュール

・キックオフ会

日時：6月22日（水）12：15～

場所：A310 教室

アドバイザー：・富士通株式会社 法務・コンプライアンス・知的財産本部知的財産
イノベーション統括部 三原雄一氏

・西武信用金庫 業務推進企画部 進行役 和田夏彦氏

西武信用金庫、富士通の担当者より技術の紹介、今後のスケジュールなどの説明。



・アイデア記入シートと写真の提出

キックオフ会で説明を受け、参加を決めたチームはアイデアシートと写真を提出。アイデアシートは西武信用金庫経由で富士通に送られ、「知財活用アイデア 2016」専用のサイトにアップされることでエントリーとなる。本学は5チームエントリーしました。

・第1回ブラッシュアップ会

日時：8月2日（水）10時～

場所：A310 教室

アドバイザー：・富士通株式会社

法務・コンプライアンス・知的財産本部

知的財産イノベーション統括部 三原雄一氏

・西武信用金庫

業務推進企画部 進行役 和田夏彦氏

・中小企業振興公社

東京都知的財産総合センター

製品化コーディネーター 木村勝己氏

第1回目のブラッシュアップ会として各チームのビジネスアイデアを披露、これに対してご来校いただいた富士通、中小企業振興公社、西武信金の方々から多くのアドバイスをいただきました。ゼミ生たちは様々な視点からの指摘に真剣に耳を傾けていました。



・第2回ブラッシュアップ会

日時：10月6日（木）17時～

場所：A310 教室

アドバイザー：・富士通株式会社

法務・コンプライアンス・知的財産本部
知的財産イノベーション統括部 三原雄一氏

・西武信用金庫

業務推進企画部 進行役 和田夏彦氏

・中小企業振興公社

東京都知的財産総合センター

製品化コーディネーター 木村勝己氏

各チームの1回目のブラッシュアップ会からさらに内容を深めたビジネスアイデアをプレゼンテーションし、これに対して、富士通、中小企業振興公社、西武信金の方々から前回に引き続き、多くのアドバイスをいただきました。



・6 大学ブラッシュアップ会

日時：10月24日（月）15時～（3時間程度）

場所：西武信用金庫 本店8階ホール

内容：希望1チームにつき10分以内でプレゼンをおこない、その後質疑応答およびアドバイザーより助言、指導をいただく。

アドバイザー：・株式会社サムブレイン 様（ソフトウェア開発業）

・SLDJ 合同会社 様（元大手音響機器メーカー技術者）

参加チーム：加藤ゼミ、北村ゼミ、北村ゼミ

・知財活用アイデアプレゼン全国大会「予選会 in 西武信用金庫」

日時：11月2日（水） 13：00～16：00

場所：東京ドームシティプリズムホール 西武信用金庫主催ビジネスフェア会場内

参加校：6大学22チーム

（亜細亜大学、嘉悦大学、東京経済大学、法政大学、武蔵野大学、目白大学）

プレゼン時間：1チーム 10分

開催主旨：12月10日開催の「全国大会」に向けた、出場チーム予選会を行うもの。

ビジネスフェア来場の中小企業者に向けたプレゼンを行い、ビジネスプランを事業家へ結びつける場とする。

結果：参加4チームのうち、2チームが優秀賞を受賞

<受賞チーム>北村真琴ゼミ・・・シネマ de コンパ

山本聡ゼミ・・・・・・奇怪装置



・11月下旬：全国大会（東日本大会）への出場チーム決定

<全国大会出場チーム>山本ゼミ・・・・・・奇怪装置

・全国大会（東日本大会）

日時：12月10日（火）13：00～18：00（交流会18：15～）

会場：富士通株式会社汐留本社 大会議室

東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター24F

全国15地区41大学103チームのうち予選を勝ち抜いた13チームが会場に集結し、約300名の関係者と一般参加者が見守る中、大会が開かれました。山本聡ゼミは、6月のキックオフ以来、2回の学内ブラッシュアップ会、1回の学外でのブラッシュアップ会を経て、西武信用金庫が主催するビジネスフェアでの予選会を通過、その後最終準備をしてアイデアを磨きあげてきました。この日は、13チーム中2番目に登場し、審査員の前でこれまで準備してきたアイデアを堂々とプレゼンしました。最優秀賞に輝いたのは静岡県立大学のチームで、山本聡ゼミはファイナリスト賞として賞状と記念品が授与されました。



・知財アイデア大会 慰労会

日時：12月15日（木）12：15～13：00

会場：地域連携センター

この長期にわたるプログラムに挑んだ学生の皆さんと関係者の方をお招きし、これまでの奮闘の慰労会を開催しました。参加した皆さんで、この活動における情報交換や報告などを行いました。



加藤みどりゼミ中小企業講演会

加藤みどりゼミでは毎年実際に企業にお勤めの若手マネージャーにお話を聞くという、講演会を開催しています。

今年度は西武信用金庫の紹介により株式会社アール・アイ プロダクト営業部 広域営業グループ アカウントブロック マネージャー大原秀和氏に講演をしていただきました。

参加した学生にとって「中小企業で働くとは?」「中小企業ってこんなところ」といった中小企業を具体的に知る貴重な機会となりました。

日時：2016年12月20日(火) 16:20~17:20

会場：A302 教室



・ 学生の社会者貢献活動



尾崎ゼミコラボ販売

国分寺市障害者センタースイーツIZUMIとNPO法人Ohanaとコラボをし、生協販売、葵陵館前でのデモ販売やぶんぶんウォークなど地域のイベントでの販売活動を行いました。





● Bunji Global Festa2016 ボランティア活動

8月27日(土) 国分寺市立第四小学校 グラウンド・校舎内にて国分寺青年会議所主催で初開催となる「Bunji Global Festa 2016」が開催されました。振付を考え、参加者に教えて一緒に踊るなどの盆踊りボランティアや来場者の案内ボランティアなど、企画から学生が参加しました。あいにくのお天気となってしまう、雨のためメインの盆踊りなどは中止になってしまいましたが、各ブースでボランティア活動を積極的に行ないました。





● 地域連携センター×セレオ国分寺コラボ企画「CELEO 寄席」開催

■ 第1回・・・9月17日開催

CELEO 国分寺との初コラボ企画、落語研究会による寄席を開催しました。敬老の日を含む三連休の初日ということもあり、また会場がレストランフロアのため多くの人で賑わっていました。13時からの第1部と14時30分からの第2部とも40名程度の人々が席に座って観覧してくれました。出演した落語研究会4名は緊張しながらも見事な落語を披露してくれました。



■ 第2回・・・1月3日開催

CELEO 国分寺とのコラボ企画2回目として、落語研究会が新春寄席を開催しました。お正月ということもあり、CELEO 国分寺は多くのお客様でにぎわっていました。前回よりもたくさんの方に見ていただき、無事に成功させることができました。





● **ぶんじハロウィン ボランティア**

10月22日(土)にぶんじマルシェ実行委員会(東栄会、国分寺北口駅前商店会、八日会商店会、国分寺北口西通り商店会、本町四丁目商店会)主催のぶんじハロウィンが行われました。

福士先生の「学生の地域貢献」の履修生が出店し、応援にかけつけた先生と共に国分寺野菜とキノコを使ったカレーとスムージーの販売を行いました。

また履修生の他にも個人で参加している学生も見受けられ、まちのイベントを盛り上げていました。





● **ぶんぶんウォーク 2016 ボランティア活動**

2016年11月19日(土)～20日(日)歩きながら国分寺の魅力を発見できる、大小60を超えるさまざまなイベントが行われる「ぶんぶんウォーク 2016」が開催されました。1日目は冷たい雨が降ってしまいましたが、2日目はとても気持ちのいい天気恵まれ、たくさんの方が参加していました。

東経大生もスタンプラリーのお手伝い、お菓子の販売、学内で開墾した農園で学生自身が育てた野菜を使用して作った「東経汁」の販売などで活躍していました。





- 国分寺まつり ボランティア活動

2016年11月6日(日)都立武蔵国分寺公園において、第33回国分寺まつりが開催されました。たくさんのイベントが開催され、模擬店も多く出店されている中、東京経済大学の学生「尾崎ゼミ×ohana」、「フェアトレード推進団体 結い」、「ボランティアサークルクローバー」も、販売活動、アナウンスなどでボランティア活動を行いました



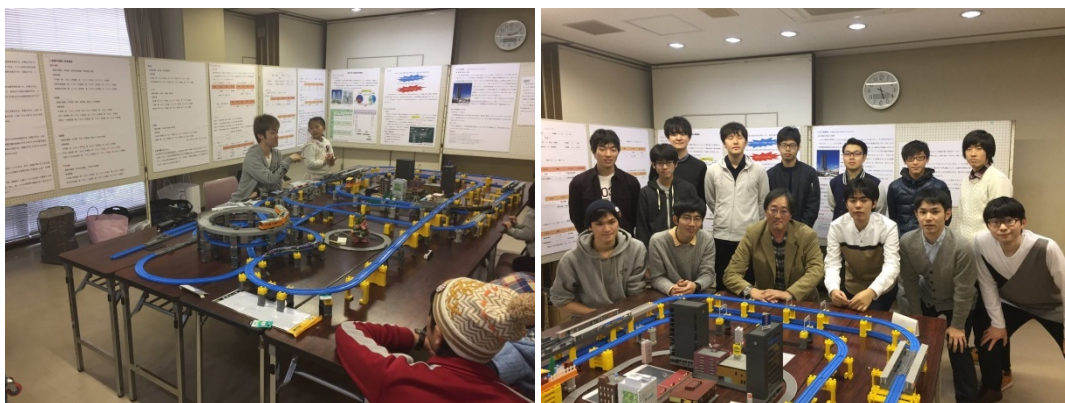


- **青木ゼミ展示会～より住みよい街『国分寺』にするには～**

経営学部青木亮先生のゼミ生が、「より住みよい街、国分寺にするには」をテーマに広く一般市民に向けて研究成果を発表しました。

日時：11月30日(水)～12月4日(日)

場所：本多公民館



- **田原総一郎と国分寺の未来を語る final ボランティアサークル Clover 参加**

3月5日(日)早稲田実業学校 小室哲哉記念ホールにて、「田原総一郎と国分寺の未来を語る Final」が開催されました。ボランティアサークル Clover がファシリテーターやボランティアとして参加しました。

運営委員会から参加し、ファイナルを迎えたこのシンポジウムに向けて何度も会議を行ないました。

また、この会では国分寺市内の中学生が地域の活動を発表し、スペシャルゲストの田原総一郎さんとともに考えるという催しがありました。

中学生とも打ち合わせ重ねて、発表のサポートを行ないました。





- ロコモコサロン調理教室ボランティア

NPO 法人 Ohana さんが中心になって運営している障害者のための調理教室「ロコモコサロン」で、ボランティアサークル Clover が調理補助のボランティアを行ないました。障害者の方と調理して一緒に食べるという活動内容で、毎週定期的に行なわれおり、Clover としては継続してボランティアを行なう予定です。



- 小木ゼミが国分寺市長と出演、市の魅力を紹介

小木紀親ゼミが、国分寺市、府中市、小金井市の市長が地域をめぐり、ご当地自慢などを伝える」：COMの番組「長（ちょ～）っと散歩」に出演しました。

「国分寺・東京経済大学で国分寺物語を歩く」と題した今回の番組のなかで、小木ゼミのメンバーは、井澤邦夫国分寺市長とのお話の中で、国分寺市の魅力を再発見してもらおうと立ち上げたウェブサイト「国分寺物語」を紹介しました。市長からの質問に「子どもたちが遊べるような魅力的な公園があればよいのでは」、国分寺市の魅力を再発見するイベント「ぶんぶんウォークは地域の方々が積み上げてきたものを、市全体で取り組むことでもっと魅力あるものになるのではないか」、「人と車が安全に通れる道をつくれればもっと地域の方も安心して住めるのではないか」などと国分寺市の今後の課題について答えています。



． 国分寺市の主な行事

イベント・行事	実施日	場所
いずみ春の祭典	3月上旬	いずみホール
観桜・早稲田実業学校内遊歩道開放	3月下旬	早稲田実業学校
市民活動フェスティバル	4月	国分寺市市民活動センター
万葉花まつり	4月下旬	武蔵国分寺跡 他
こくぶんじ朝市	5月～10月	市内施設など
社協ふくしのつどい	6月	国分寺市社会福祉協議会
本多公民館新緑まつり	5月	本多公民館
ジュニア科学教室 宇宙の学校	6月～2月	市内施設など
もとまちファミリー運動会	6月中旬	小学校体育館
農ウォーク	6月下旬	市内農地
はあとふるまつり	8月	恋ヶ窪商店会
夏休み子供自然教室	8月中旬	恋ヶ窪樹林地
ぶんじハロウィン	10月	東栄会
スポレクまつり	10月中旬	市民スポーツセンターなど
にしこくんのお誕生日会	10月12日	西国分寺 LEGA コンコース
国分寺まつり	11月第1日曜	武蔵国分寺公園ほか
ぶんぶんウォーク	11月頃	武蔵国分寺公園ほか
国分寺環境まつり	12月上旬	国分寺市清掃センター
こくベジのじかん	3月	都立武蔵国分寺公園



東京経済大学 地域連携センター

東京都国分寺市南町 1-7-34

Tel: 042-328-7950

Fax: 042-328-7949

Mail: crc@s.tku.ac.jp